

平成 25 年 4 月 18 日

各 位

会 社 名 メビオファーム株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤澤 忠司
(コード番号：4580 TOKYO PRO Market)
問合せ先 取締役経営戦略室長 森崎 直幸
(TEL 03-6426-5766)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 5 月 14 日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期の業績予想の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	事業収益	営業利益 (△は損失)	経常利益 (△は損失)	当期純利益 (△は損失)	1 株当たり 純利益(円)
前回発表予想 (A)	2,211	1,615	1,615	1,613	492.51
今回修正予想 (B)	31	△142	△144	△145	△44.40
増減額 (B-A)	△2,179	△1,758	△1,759	△1,758	—
増減率 (%)	△98.6	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	161	△203	△229	△232	△75.00

2. 修正の理由

当社は当事業年度において、欧米で開発を進め第Ⅱ相臨床試験を進めている抗がん剤 MBP-426 の全世界における開発権・販売権に係るライセンス供与の契約締結に伴う契約一時金による収益計上を計画し、国内外の製薬企業複数社との契約交渉を進めてまいりました。

契約交渉を進めるため、第Ⅱ／Ⅲ相臨床試験の新たな国際共同治験の開始を予定し、第三者割当増資や新株予約権付社債等によりその資金確保に努めてまいりましたが、株価の低迷や低い流動性、また割当候補先から厳しい出資条件の提示を受けるなどにより、資金を調達するに至りませんでした。このため、当該臨床試験の開始を延期せざるを得ず、当事業年度でのライセンス契約の締結に至らない状況となりました。

このため、事業収益を 31 百万円に修正し、加えて、臨床試験開始の延期に伴う研究開発費の減少と最近の事業費用の推移を踏まえ、営業損失 142 百万円、経常損失 144 百万円、当期純損失 145 百万円に修正いたします。

尚、当社としましては、新株発行による資金調達策を継続してまいります。一方で当社が蓄積してきた技術やノウハウを活用した技術導出や事業提携による資金獲得を進め、十分な開発資金を確保した後に MBP-426 の新たな臨床試験を開始することで、ライセンス契約交渉をより有利に展開したいと考えております。

また、平成 25 年 3 月 27 日に公表しました「TOKYO PRO Market における当社株式の上場廃止申請及び臨時株主総会招集のための基準日設定に関するお知らせ」のとおり、当社は上場廃止申請に向けた手続を行っております。

(業績予想に関する注意事項)

尚、上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。このため実際の業績等は、状況の変化などにより今後修正される可能性があります。修正が生じる場合は速やかに開示いたします。

以 上